

新聞ばっぐ
コンクール、
東北へ。

SHIMANTO
NEWSPAPER
BAG
CONCOURS
2018

第8回しまんと新聞ばっぐコンクール

作品展示

12/8(土)・12/9(日)

時間 10:00~17:00

会場 鳴子温泉 旅館弁天閣

(宮城県大崎市鳴子温泉車湯87)

その他、鳴子温泉街会場

公開審査 12/8(土) 14:00~

審査員による公開審査と各賞の発表を行います。

審査員 今村 直樹 (CMディレクター)

梅原 真 (デザイナー)

畦地 履正 (株式会社四万十ドラマ)

お問い合わせ NPO法人RIVER事務局 (担当:森岡、刈谷)
〒786-0534 高知県高岡郡四万十町広瀬583-13
TEL 0880-28-5801

E-mail npo.river@gmail.com

<http://shimanto-shinbun-bag.jp>

作品募集 テーマ たべものを入れるばっぐ

【応募いただいた作品はコンクール後に販売し、東北復興支援に寄付いたします。】



作品応募締切

11/10(土)
消印有効

SHIMANTO NEWSPAPER BAG CONCOURS 2018

第8回しまんと新聞ばっくコンクール

12/8(土)・12/9(日)

@宮城県大崎市鳴子温泉郷

読み終えた新聞とのりだけでつくる新聞ばっくは、新しいアイデアと「もったいない」の精神がつまっています。全国各地から個性あふれる新聞ばっくが集まる「しまんと新聞ばっくコンクール」。今年は2011年より復興支援で繋がってきた東北での開催です。今年のテーマは「たべものを入れるばっく」。あなたはどんなたべものを、どんなばっくに入れますか？オリジナルの作品とユニークな発想をお待ちしています。

参加者
募集

■ 募集テーマ

たべものを入れるばっく

ワインを入れるワインばっくや、野菜専用ばっくなど実際のたべものを入れるためのばっくを募集します。

■ 応募部門

スタンダード部門

基本の新聞ばっくの形で、わくわくする紙面や記事の発見とその活かし方を競う部門。

アバンギャルド部門

物を運ぶことを前提とし、新聞紙でできるあらゆることが許されるフリーな発想を競う部門。

■ 参加費 1,000円 (何点でも出品できます)

■ 応募要項・応募用紙 ホームページからダウンロードできます。
<http://shimanto-shinbun-bag.jp/award>

ご応募いただいた作品はコンクール後に販売し、東北の復興支援として寄付いたしますので、返却いたしません。

■ 審査員



今村 直樹 CMディレクター／東北芸術工科大学教授

岐阜県出身。サン・アドなどの広告制作会社を経て、今村直樹事務所を設立し、フリーランスのCMディレクターとして活動。サントリー・ソニー・資生堂・JR東海・トヨタ自動車・第一生命・ダイワハウスなど、日本を代表するさまざまな企業のCMを500本以上手がけてきた。2012年より、東北芸術工科大学映像学科教授。既存の広告の仕組みのとらわれない「オフコマーシャル」や、大学を拠点に地域の課題を映像で解決する「ムービーデザイン」の活動を積極的にやっている。



梅原 真 デザイナー／武蔵野美術大学客員教授

高知市生まれ。高知というローカルを拠点に「一次産業×デザイン＝風景」という方程式で活動する。かつおを薫で焼く「一本釣り・薫焼きたたき」。柚子しかない村から「ボン酢醤油・ゆずの村」。荒れ果てた栗の山から「しまんと地栗」。高知県の森林率84%をおもしろがる「84プロジェクト」。離島、海士町のアイデンティティ「ないものはない」。砂浜しかない町に「砂浜美術館」。そして世界中どこにでもある新聞から「しまんと新聞ばっく」のプロデュース。「土地の力を引き出すデザイン」で2016毎日デザイン賞・特別賞受賞。



畦地 履正 株式会社四万十ドラマ代表取締役

四万十町(旧十和村)生まれ。2008年代表取締役役に就任。「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに地域と密着した自然循環型企業としての事業展開に従事し、「しまんと地栗」「四万十ひのき風呂」「しまんと緑茶」「しまんと新聞ばっく」など、四万十地域の新しい産業の創出に取り組んでいる。

RIVER交流会

日時: 12/8(土) 18:00~
会場: 鳴子温泉 旅館弁天閣

審査員や新聞ばっくインストラクターのみなさんと宮城県の郷土料理を楽しみながら交流できます。

参加費: 5,000円~6,000円予定

申込方法: 事務局へメールにてお申し込みください。
(npo.river@gmail.com)【締切: 11/17(土)】

■ 会場アクセス

鳴子温泉駅から徒歩約15分(約1.4km)

JRで 仙台駅—東北新幹線—古川駅—陸羽東線—鳴子温泉駅

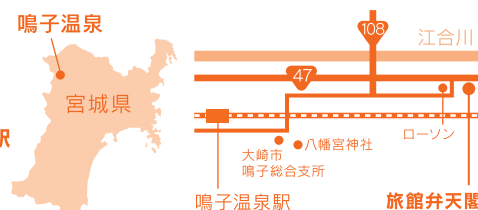
飛行機で 仙台空港—アクセス鉄道—仙台駅—東北新幹線—古川駅—陸羽東線—鳴子温泉駅

お車で 東北自動車道「古川I.C」より鳴子温泉まで29km(約40分)

■ お問い合わせ・作品応募先

NPO法人RIVER事務局(担当:森岡、刈谷) 〒786-0534 高知県高岡郡四万十町広瀬583-13

TEL 0880-28-5801 E-mail npo.river@gmail.com URL <http://shimanto-shinbun-bag.jp>



地方はジブンで考える
npo RIVER